



主な内容

- 壬生町健康ふくしまつり 2~3
- 平成18年度上半期町の財政状況 4~5
- 第8次海外行政視察団報告 6~7
- 壬生町消防団通常点検 8
- 農業委員会だより 9
- 健康だより 10~11
- 国保だより 12~13

第20回

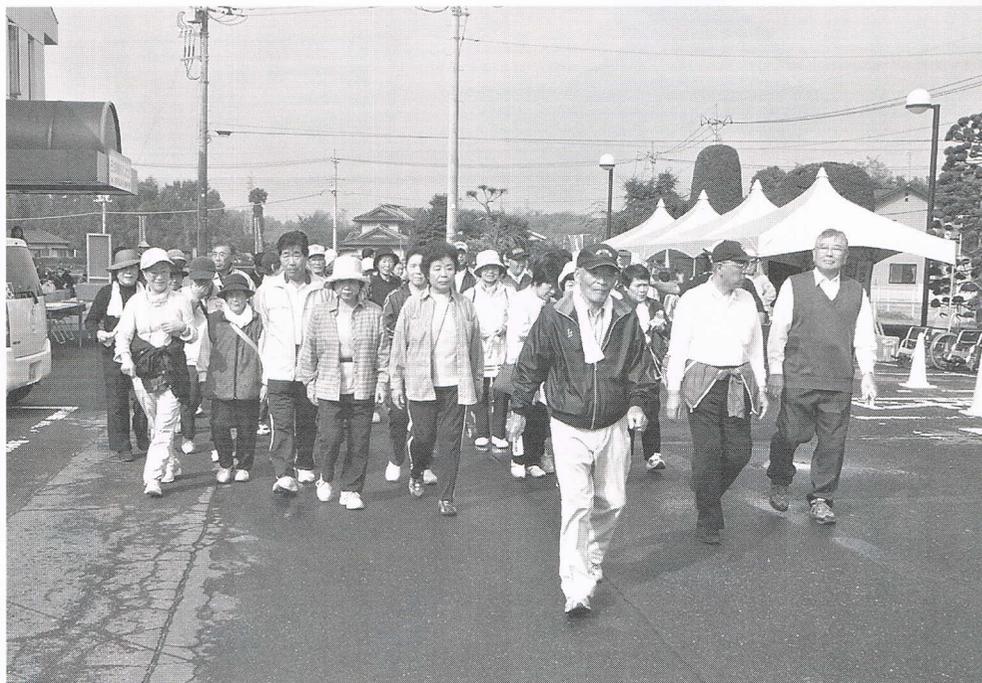
健康ふくしまつり開催

10月29日、保健福祉センターにおいて、「第20回健康ふくしまつり」が開催されました。

保健事業功労者・福祉功労者等の表彰につづき、今回は20回目を記念し、エコ風船飛ばしを行いました。（関連記事2~3頁）

壬生町健康ふくしまつり

10月29日、町保健福祉センターにおいて「第20回健康ふくしまつり」が開催されました。



5kmの健康ウォークに出発するみなさん

保健・福祉功労者等を表彰

まつりの開始とともに行われた表彰式では、保健事業功労者・福祉功労者、3歳児よい歯のコンクール・親と子のよい歯のコンクール入賞児者等のみなさんに表彰状や感謝状を贈りました。また、20回目を記念し、表彰式の最後に保育園児たちによる、エコ風船飛ばしが行われました。



清水町長による主催者あいさつ

認知症予防、介護予防、骨密度・体組成測定、子育て支援等
数多くの催しがもりだくさん

当日保健福祉センター内では、認知症に関する講演会、認知症相談、高齢者のための筋力向上トレーニング、転倒骨折予防「ズンドコ体操」など高齢者向けのもの、骨密度測定、体組成測定、栄養・健康相談など、健康に関するもの、そのほか、子育て支援センター「ひよこ」のパネルシアター、朗読ボランティアグループひばりの大型紙芝居・パネルシアター・群読・朗読などの子育てに関するコーナー、介護保険、介護用品・福祉機器展示コーナーなど、福祉関係についてのもので、数多くのコーナーや催しがあり、まつりを訪れたみなさんは、興味を持つものに積極的に参加していました。

屋外では、健康ウォーク、車イス・点字・手話などのハンディキャップ体験、献血などが行われたほか、ペットの健康相談・犬のしつけ教室、ゲームコーナー、シルバー人材センターによる刃物研ぎなどが行われました。



車いすでハンディキャップ体験

出し物として、手話サークル、壬生高校JRC部による手話劇・手話コーラス、ハンドベル演奏、母親クラブ・ひよこ利用者によるキッズハワイアン、円仁太鼓演奏などが行われ、楽しい出し物、かわいい子どもたちにもみなさん惜しめない拍手を送っていました。

健康ふくしまつり受賞者 (敬称略)



受賞者のみなさん

- 糸川 キチ 鈴木 和枝
- 老人クラブ育成功労者部門
- 渡邊 剛 山中 一男
- 中村 為明 大栗 宗二
- 神永 昭次
- ボランティア功労者部門
- 植木 長造 村上 敬二
- 植竹 幸子

福祉功労者感謝状

- 社会福祉推進者部門
- 杉本 清 高橋 弘行
- その他部門
- ファーストクラブMIIBU

3歳児よい歯のコンクール表彰

- 最優秀賞
- 小林 怜生
- 優秀賞
- 高岩 彩未
- 優良賞
- 飯島 祥 後藤 夏美
- 高橋 和

親と子のよい歯のコンクール表彰

- 最優秀賞
- 高原 尚子・幸佑
- 優秀賞
- 笹崎 史子・真帆

国民健康保険健康優良家庭表彰

- 10年表彰
- 本多 博 神永ヨシ子
- 田中 茂夫
- 5年表彰
- 高山 盛夫 村田 園子
- 星野 智仁
- 社会福祉協議会会長表彰
- 高額寄付者表彰
- 15万円以上の寄付者
- 生涯学習館フェスティバル実行委員会
- 壬生町歌謡芸術研究所師範連盟
- 伏木美佐恵
- 壬生町老人クラブ連合会
- 南犬飼カラオケ愛好会
- 壬生町商工会女性部
- 15万円以上の物品寄付者
- 壬生町立壬生中学校JRC委員会



3歳時よい歯コンクール表彰



ズンドコ体操



血圧測定



認知症に関する講演会



フリーマーケット



犬のしつけ教室



パネルシアター

平成18年度上半期 町の財政 状況報告

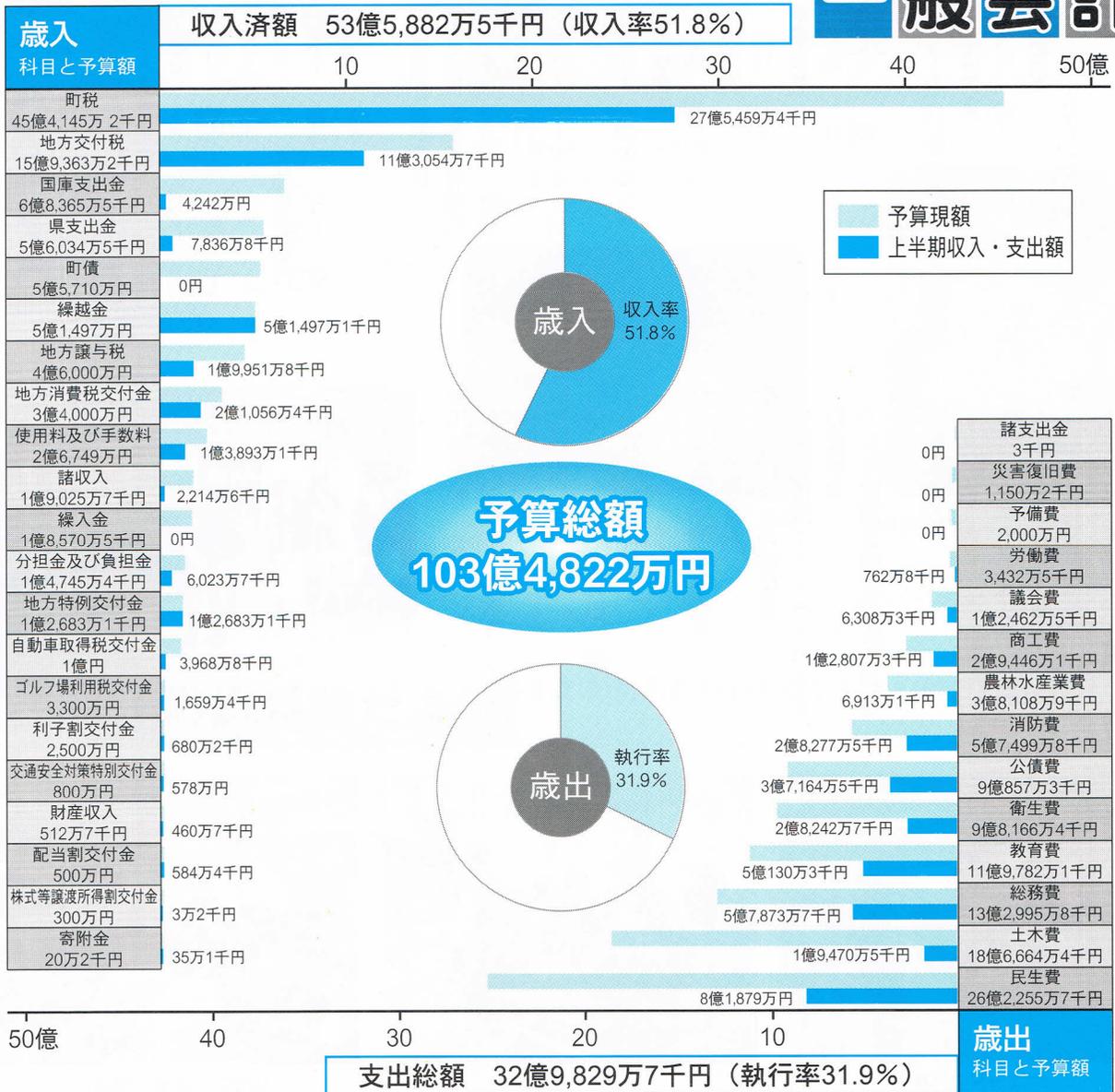
(平成18年9月30日現在)

一般会計

町では、皆さんに町の財政状況を正しく理解していただくとともに、納められた税金や国・県支出金がどのように使われているかを知っていただくため、「財政状況の公表に関する条例」に基づき、年2回(広報壬生6月・12月号)財政状況を公表しています。今回は、平成18年度上半期(平成18年4月1日から9月30日)の収入と支出の状況についてお知らせします。

平成18年度一般会計当初予算額は101億7千万円でしたが、その後2回の補正を行い、9月30日現在の予算額は103億4,822万円となりました。

また特別会計では公共下水道事業で2回、国民健康保険、介護保険事業、農業集落排水事業、水道事業でそれぞれ1回の補正を行っています。



『歳出の主な内容
(活用のされ方)について』

◎歳出予算には、その目的ごとに款と呼ばれる区分があります。主な款がどのようなことに活用されているかを説明します。

●総務費

他の事業・事務の増減に特に関係なく、通常必要とされる経費で、本庁舎・出先機関等の維持管理に要する経費や全般的な管理事務、企画調整事務、財政・財務管理に要する経費等が計上されています。

●民生費

住民の一定水準の生活と安定した社会生活を保障するのに必要な経費で、具体的には社会福祉、身体障がい者、高齢者、児童福祉及び災害救助関係の経費等が計上されています。

●衛生費

住民が健康で衛生的な環境を保持するための経費で、健康増進・医療の充実及び環境の保全等に要する経費が計上されています。

●農林水産業費

農業の振興を図るための各種支援・補助や生産基盤の整備に要する経費が計上されています。

●商工費

商工業の振興を図るための

特別会計

老人保健事業

予算額	26億9,305万7千円 (執行率)
収入済額	11億7,302万5千円 43.6%
支出済額	11億8,189万9千円 43.9%

※収支の不足額は、一般会計から運用しました。

国民健康保険

予算額	42億7,762万5千円 (執行率)
収入済額	16億879万1千円 37.6%
支出済額	14億9,132万4千円 34.9%

介護保険事業

予算額	16億4,394万1千円 (執行率)
収入済額	6億4,917万8千円 39.5%
支出済額	6億855万2千円 37.0%

公共下水道事業

予算額	20億867万6千円 (執行率)
収入済額	1億8,690万7千円 9.3%
支出済額	5億742万8千円 25.3%

※収支の不足額は、一般会計から運用しました。

農業集落排水事業

予算額	7億7,075万9千円 (執行率)
収入済額	2,222万4千円 2.9%
支出済額	2億131万1千円 26.1%

※収支の不足額は、一般会計から運用しました。

奨学資金

予算額	195万9千円 (執行率)
収入済額	196万5千円 100.3%
支出済額	148万7千円 75.9%

企業会計

水道事業

●収益的収支

収入予算額	5億7,043万7千円
収入済額	2億238万3千円
支出予算額	5億690万7千円
支出済額	1億3,038万2千円

●資本的収支

収入予算額	1億9,993万円
収入済額	1,845万7千円
支出予算額	5億1,521万7千円
支出済額	1億9,201万3千円

※資本的収支の収入額が支出額に対して不足する額は損益勘定留保資金等で補てんしました。

地方債現在高



町税の内訳

	予算現額	収入済額
町民税	19億398万円	9億562万8千円
固定資産税	20億9,643万2千円	15億3,719万4千円
軽自動車税	5,184万2千円	5,016万8千円
町たばこ税	2億1,860万円	9,893万4千円
都市計画税	2億7,059万8千円	1億6,267万円
合計	45億4,145万2千円	27億5,459万4千円

税の負担状況

	(単位: 円)				
	町民税	固定資産税	軽自動車税	町たばこ税	都市計画税
一人当たり 69,100円	22,718	38,561	1,258	2,482	4,081
1世帯当たり 200,000円	65,754	111,609	3,642	7,183	11,811

(平成18年4月1日現在 人口: 39,864人/世帯数: 13,773世帯)

各種支援及び観光事業等に要する経費が計上されています。
土木費 道路、橋、公園などの社会資本の整備・維持管理に要する経費が計上されています。
教育費 小中学校教育の実施・充実、社会教育・生涯学習の推進、芸術・文化・スポーツの振興に要する経費が計上されています。
公債費 町債の元金の返済と、利息の支払いに要する経費が計上されています。

第8次海外行政視察団が欧州2カ国を歴訪



リスボン 「発見のモニュメント」前にて

植竹収入役を団長とする第8次壬生町海外行政視察団19名が、10月2日から11日までの10日間、「教育問題・環境問題」の課題について、ポルトガル・スペインの両国を視察し、現場の状況を見聞き理解と認識を深めてまいりました。

「ポルトガル・スペイン」を視察して

ポルトガルは、鉄砲伝来で知られるように古くから日本との交易が行われており、西洋文化を伝承するなど、関係は深く、米の消費も多く魚料理もあり親近感を感じました。

気候が温暖で住み良いため、移民者も多く住宅不足や学校の就学にも影響が出てきているとのことです。

リスボン市のアントニエッタローレンス公立小学校を訪問し、校長・副校長の対応により、教育現場を視察いたしました。

校内を見学した後、質疑応答の時間では、各団員から教育制度・児童の送迎や校外活動・いじめ等日本での問題を通じた様々な、質問と意見の交換を行いました。

今年の教育目標として、「子供の怪我をなくそう」を掲げ指導がなされ、また、国歌・国旗の掲揚等の義務はありませんが、玄関ホールには、EU・国旗等が掲げてあり、ポルトガル語、歴史は教えています。

教育は無料で行っていますが、教科書は有償なため、ブックカバーを付け大切に使用し、また、

制服は、私立の学校は在りますが、公立学校は無いという事でした。

学校への児童の送迎、校外活動は、家庭・地域が行っていて、放課後のクラブ活動は有料で行われています。先生は、低学年は女性が多く、高学年は男性が多くなっていて、定年は65歳となっています。

児童を学校に來させるよう、親を指導する先生も配置され、また、障がい者のいるクラスには、補助者をつけて授業をしています。

いじめは、低学年では少ないが高学年では多いそうです。休み時間には、児童との笑顔の交流が行なわれ、言葉はわからなくても有意義な視察となりました。



アントニエッタローレンス公立小学校

ロカ岬、ジェロニモス修道院、発見のモニュメント、世界遺産の街シントラを視察、また、民族舞踊「ファド」を鑑賞し素晴らしいひとときを過しました。



ロカ岬

情熱の国スペインは15世紀から17世紀にかけて、コロンブスの新大陸発見等により、勢力を新大陸に向け、栄華のときを迎えました。その後、国王の覇権争いや植民地の独立・内乱等があり、激動の歴史を歩きました。現在では、カルロス1世のもと、自治共同体国家として民主化を実現しております。バルセロナ市役所環境局を訪問し、担当者から説明を受けました。



バルセロナ市 環境局

ごみ収集は紙類・ビン等の分別コンテナが、すべての通りに設置してあり、それぞれの種類ごとに毎日収集しています。また、飲食店のごみは、別のコンテナにより業者が収集しています。家具等の大きなごみも無料で収集し、リサイクルを行い、また、有機物は、収集日が決められ、3箇所のエコパークに集められ、メタンガスを作り販売しています。

オリンピック以降、新しい街づくりとして、海岸の地域ではダクトを利用した風圧による分別の取り組みがされています。産業廃棄物は、企業の責任で処理されています。

不法投棄等の違反については、一般市民には、罰則はありませんが、商店等事業者には罰金が

科せられます。分別の決まり等については、守られていない現状にあり、市民のごみに対する意識の高揚が課題となっていることでした。



バルセロナ ゴミ収集の様子

マドリッドでは、ベラスケス、ゴヤ、エル・グレコ等の名作が展示してあるプラド美術館、スペイン広場等を視察、コルドバへは、スペイン新幹線による移動で、世界遺産メスキータは、イスラム教とキリスト教が共存するめずらしい建物、ベランダを花で飾り付けた旧ユダヤ人街等が印象的でした。

グラナダでは、夕食後、洞窟でフラメンコと夜景を楽しみ、世界遺産のアルハンブラ宮殿は、イスラム芸術の最高傑作といわれる建物で、当時の王様の偉大さがうかがえました。

セルビアでは、世界遺産カテドラル、ヒラルダの塔、スペイン広場等の視察を行ったほか、フラメンコの発祥の地で迫力満点のフラメンコディナーショーを鑑賞し、その迫力に感激しました。

バルセロナでは、ガウディが建設に参画した「サグラダ・ファミリア」は、現在も工事中というところで、壮大な計画に感嘆いたしました。また、分譲地として造られた、グエル公園は、1戸のみ分譲し、残りは公園として使用しています。バルセロナは、オリンピック開催後、観光に力をいれ、街の活性化を図っています。

両国とも、ヨーロッパ共同体(EU)加盟によりEU基準に添った取り組みが進められ、あたらしい街づくりが推進され、また、黄金時代の華やかな王宮や寺院等を世界遺産に登録し大切に保

存し、年間を通して多くの観光客を招いております。

この海外行政視察を通して団員各位、それぞれに教育問題・環境問題についても、行政はもとより家庭・地域の結びつきが重要であることを、再認識された事と思います。

この視察の貴重な体験を活かしこれからの、町づくりに参加くださるよう期待いたします。

視察中は、天候にも恵まれ、予定の視察研修ができましたが、最後に体調を崩した団員は、回復を待つての帰国となりました。

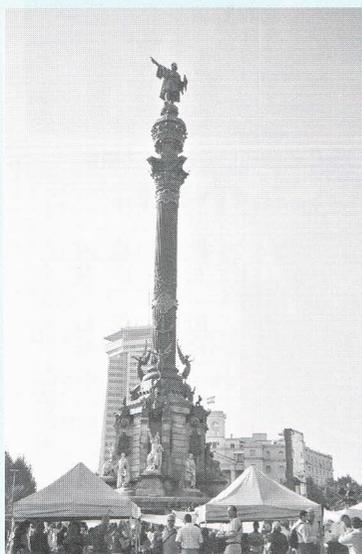
結びに、今回の海外行政視察にあたり、ご協力を賜りました関係者並びに町当局に、深く感謝申し上げます。

第8次壬生町海外行政視察団

団長 植竹勝美



バルセロナ サグラダ・ファミリア (聖家族教会)



バルセロナ コロンブスの塔

第8次壬生町海外行政視察団

団員名簿 (19名)

団長 植竹 勝美
副団長 池 節子
団員 赤羽根 清治
池田 勇
石黒 幸子
小川 キヌ子
押久保 俊明
小関 敏美
黒川 知子
齋藤 敦子
坂田 昇一
静 實
高山 文雄
出口 和江
中川 利夫
細井 敬一
矢野 房子
鈴木 平八郎

事務局 鈴木 平八郎

壬生町消防団通常点検

消さないで あなたの心の 注意の火。

壬生町消防団（鈴木正美団長・団員203名）による壬生町消防団通常点検が、11月23日、町総合運動場で実施されました。

消防関係殉職者に対し黙祷を捧げた後、人員並びに服装点検、機械器具点検、ポンプ操法及び放水点検が実施されました。

点検の後、清水英世町長より「本日の点検を見て、4万町民の生命財産を安心して任せられる素晴らしいものでした。」との訓示があり、続いて、永年勤続者や退団者、消火協力者などの表彰が行われました。

その後、蘭学通りに場所を移し、多くの人が見守る中、分列行進が行われました。分列行進の先頭には、とおりまち保育園・森の子保育園の園児たちが拍子木を叩き「火の用心」の声を発しながら歩き、火災予防を呼びかけました。

表彰者（敬称略）

栃木県消防協会会長表彰

◎勤続章10年

第三分団第一部団員 野澤 忠則



服装点検

第三分団第五部団員 渡辺政人

栃木県消防協会下都賀支部長表彰

◎功績章8年

第二分団分団長

第三分団副分団長

第一分団第一団員

第三分団第四部団員

第三分団第五部団員

◎勤続章5年

第二分団第三部部長

第三分団第三部部長

第三分団第四部部長

第二分団第三部部長

第三分団第一部部長

第三分団第三部部長

岡部 豊作

河野邊喜信

田村 健一

清水 正美

梅山 敏昭

山口 陽司

田中 光昭

西村 健一

杉山 朝生

鈴木 武

渡邊三代史

石橋地区消防団連絡協議会長表彰

◎優良部

壬生町長表彰

◎勤続章10年

第三分団第一部団員 野澤 忠則

第三分団第五部団員 渡辺 政人

◎勤続章5年

（栃木県消防協会下都賀支部長表彰と同じ）

◎優良部

消防ポンプ自動車の部

◎優良部

第一分団第一部

第三分団第一部

第一分団第一部

第三分団第一部

第一分団第五部

- 第三分団第四部班長 白井 康之
- 第一分団第二部団員 白久千可司
- 第一分団第二部団員 近藤 勝彦
- 第一分団第四部団員 橋本 誠二
- 第一分団第四部団員 黒川 勝宏
- 第一分団第四部団員 八重樫善彦
- 第一分団第五部団員 田中 久
- 第二分団第二部団員 早川 和文
- 第二分団第二部団員 早乙女和弘
- 第二分団第二部団員 江田 英郎
- 第三分団第一部団員 刀川 治久
- 第三分団第一部団員 中川 雅史
- 第三分団第二部団員 出田 康治
- 第三分団第四部団員 中島 巖
- 第三分団第四部団員 糸川 義仁
- 第三分団第四部団員 糸川 肇



永年勤続者に勤続章・功績章

◎努力部

消防ポンプ自動車の部

第二分団第一部

小型動力ポンプの部

第一分団第三部

感謝状贈呈

◎平成17年度退団者

橋本匡弘 他44名

◎消火協力者

有限会社高田工務店

橋本 喜夫

橋本 康宏



消火協力者に感謝状

◎火災時井戸提供者

高橋 敏男

篠原 稔

◎内助の功表彰

団員 野澤忠則 令夫人 佳子



分列行進



分列行進を子どもたちが先導



分列行進のあとは放水体験等を行いました

農業委員会先進地視察研修報告

壬生町農業委員会では、去る10月23日から24日の2日間遊休農地対策に積極的に取り組んでいる「南会津町農業委員会」を視察してまいりました。

1日目は南会津町農業委員会を訪問しました。

南会津町は、福島県南西部に位置し本年3月田島町・舘岩村・伊南村・南郷村が合併したばかりの町で、土地の約95%が森林であり、耕地面積2,889ヘクタール、農家戸数1,919戸の農山村地域の町です。

農業従事者の高齢化などにより、遊休農地の面積は205%に及んでいるのが現状で、平成16年度から県の補助を受け、町と農業委員会が中心となり、7月第1日曜日を「二斉耕起の日」と定め、全農家にチラシを配布し、地域一丸となって遊休農地の耕起・畦畔の草刈り・水路の確保等の作業を一斉に実施しています。

また、国道沿い等の目立つ遊休農地を農業委員全員で耕起し、ひまわり・コスモスの種をまき、自ら遊休農地解消に努めています。

更に、この地域では地元の建設業者が農業生産法人を立ち上げ、アスパラ・そば・きのこ等

の栽培に取り組み、遊休農地解消に一役かっています。

この取り組みも今年で3年目を迎え、一斉耕起の日も定着しつつあり、18年度の解消分は30・5ヘクタールですが、担い手そのものが少ないため、新たに利用集積された耕地面積が増えない状況です。

壬生町においても、後継者確保ができず農業従事者の高齢化が進み、更に不在地主が多くなり、遊休農地が増えていますので、荒廃防止のため農地パトロールを実施し、除草・耕起のお願いをしております。農地が耕作できない状態になる前に担い手に利用集積されることで、これ以上遊休農地を出さない方向へ結びつけていく取り組みが更



に重要だということはこの研修を通じ実感しました。

2日目は、JA会津フルーツランド北会津では、観光果樹や産地直送の取り組みをするほか、旧北会津村からの補助を受け農産加工所を建設し、他産地にはない特徴ある産地づくりを目指している様子を研修しました。

また、後継者不足が深刻な課題であり、数年後には数軒の農家が樹木を伐採せざるを得ない現状でもあります。

その後、会津若松市内において、会津そばトピア会議会長の唐橋宏氏の貴重な講話を拝聴しました。

会津地方では町おこしによって、そば文化が産業へと変化を遂げました。平成3年に13市町・68団体が一致団結して日本一のそばの郷づくりを目指し「会津そばトピア会議」を発足させました。そばの勉強会・「日本新そば祭り」等の数々の大規模なイベントを開催し、ますます会津のそばが注目を集めるようになりました。

年間15万人と観光客が増えたことで、農家との共存共栄も実現し、そばの作付け面積も増加し、北海道に次ぐ国内第2位の

そばの産地となりました。3,500トンで作ったそばを、1,800トンほど地元で消費し、まさに産地消そのものです。

行政の垣根を越え、広域連携することの重要性を勉強させていただきました。

この研修で学んだことを今後の農業委員活動に役立てていきたいと考えております。



健康だより



師走に入り朝夕の冷え込みも厳しくなっており、コタツに入ってみかんを食べるのも冬の風景ですが、脳卒中が多いのもこの時季です。

9月は「健康増進普及月間」で厚生労働省は「1に運動 2に食事 しっかりと禁煙 最後にクスリ」良い生活習慣は気持ちいい」の全国統一スローガンで事業が展開され、また、10月には「食生活改善普及月間」で国民一人ひとりの食生活改善に対する自覚を高め、日常生活での実践を促進するために、全国で普及運動が行われました。

いきいき壬生2006 知ろう・考えよう 生活習慣病をテーマに開催

わが町でも9月と10月の2日間、下都賀郡市医師会と町主催で総合司会松本幸三先生のもと保健福祉センターで開催されました。

第1回は9月19日に症状からみた生活習慣病で危険な症状の見分け方の公開シンポジウムが行われ、町保健課・宇山、益田俊英先生、荒川博先生、小倉健夫先生、陣内秀明先生、大橋裕二先生の6名のシンポジストが発表を行いました。

第2回は10月17日、栄養・運動指導生活習慣病予防における栄養と運動で石田基雄先生、大久保義則先生、西山宏宗先生、多島直衛先生の講話と運動指導士の小室史恵氏、栄養士の渡辺愛子氏の実技指導がありました。

今回は、諸先生方の講話より抜粋いたします。

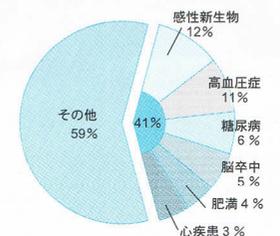
栃木県と壬生町の生活習慣病の現状 宇山

生活習慣病とは

食習慣、運動習慣、休養の取り方、嗜好などの生活習慣がかかわる疾病で、死因をみると60%。がんや高血圧、糖尿病が医療費の41%を占めている。

栃木県の平成15年のSMR（標準化死亡比）をみると、脳血管疾患は、女性は日本一、男性は3番という不名誉な数字で、心疾患も多い。

生活習慣病が占める医療費の割合 (町.H17.5月診療分)



生活習慣病とは

益田先生

不適切な生活習慣により進み生活習慣の改善によって予防ができる病気

- 高脂血症
- 糖尿病
- 呼吸器疾患
- 高尿酸血症、痛風
- 肝機能障害
- 骨粗鬆症
- 胃、十二指腸潰瘍
- 歯周病
- 肺炎
- がんなど
- 高血圧
- 肥満
- 動脈硬化
- 脳血管障害
- 虚血性心疾患



症状からみた心血管疾患

荒川先生

虚血性心疾患

心臓の筋肉の栄養血管である冠状動脈の動脈硬化により血管の中が狭くなり、心筋への必要な血液の供給不足や血栓を形成する。

症状

突然の前胸部中央から胸全体の痛み、しめつけられる感じ、重苦しさ、時として首々左胸へ腕部へ放射する。冷や汗、吐き気、息苦しさ

症状から見た脳血管疾患

小倉先生

脳血管の塞栓や破裂により、突然に急激な脳循環障害を発症させ意識障害や上下肢の麻痺を呈する。総して脳卒中と呼ばれる。

症状

意識障害や食事中に箸を落としたり歩こうとしても力が入らない運動麻痺、呂律がまわらない、舌がもつれるなどの言語障害、突然の激しい頭痛や吐き気、めまいなど。

症状からみた高血圧・高脂血症 陣内先生

・正常血圧

高齢者	140/90 mmHg 未満
若年・中年者	130/85 mmHg 未満
糖尿病・腎臓障害者	130/80 mmHg 未満

症状

特に症状はなくサイレントキラー

・高脂血症

総コレステロール	220 mg以上
LDLコレステロール	140 mg以上
HDLコレステロール	40 mg以下
中性脂肪	150 mg以上

症状

一般的に自覚症状はなく、検診や他の随伴検査で発見される。また、関節、特に膝関節部に結節性のコブ、又上眼瞼に黄色の斑

症状からみた糖尿病・肥満

大橋先生

糖尿病とは

血液中の糖量を制御するため、すい臓から放出されるインスリンが十分に産生されない状態

空腹時血糖 126mg/dl以上
ヘモグロビンA1c 6%以上

症状

のどが渇き、特に就寝中に水を飲みたくて目が覚める、おできがきやすい。傷が治りにくい。異常な空腹感、目のかすみなど。

3大合併症として

神経障害（手足先のシビレや冷え）、網膜症（失明原因の第1位）、腎障害（人工透析の必要になる第1位）
動脈硬化の促進因子（心筋梗塞、脳梗塞など）

眼疾患と生活習慣病

城山先生

糖尿病性網膜症

血糖値が高いと、眼の網膜血管壁に血液循環が低下し出血、白斑、浮腫などの病変をきたし、ある期間以上続くと視力が著しく傷害される。

生活習慣病予防における栄養と運動

生活習慣病の危険因子

石田先生

メタボリック症候群とは

内臓脂肪型肥満に加えて、高脂血症・高血圧・高血糖などの危険因子をあわせ持つ状態をいいます。

これらの危険因子が二つ以上重なっている場合軽度

内臓脂肪型肥満

2つ以上	○高脂血症	>中性脂肪150mg/dl 又は <HDLコレ 40mg/dl
	○高血圧	>130mmHg 又は >85mmHg
	○高血糖	>110mg/dl(空腹時)

であっても動脈硬化に進む危険率が高く、2項目以上当てはまると「メタボリックシンドローム」と診断されます。

食塩の危険

大久保先生

食塩を多くとると、血中ナトリウム濃度を一定に保とうと体内の水分が増え、血液量が増加して血圧が上がります。

目標は1日に10グラム以下

日本人の平均の食塩摂取量は11グラム
栃木県平均12グラム

減塩すると確実に脳卒中や心筋梗塞の発病を抑制するといわれています。もう一工夫が必要

肥満の危険

西山先生

太っていると血圧が上昇するばかりでなく、あらゆる生活習慣病のもととなります。

- BMI = 体重(kg) ÷ 身長(m) ÷ 身長(m)
- 内臓脂肪型肥満
脂肪(おへその高さではかる)が
男性で85cm以上
女性で90cm以上
ある



運動不足の危険

多島先生

便利になった現代社会。日常生活の活動量は減り、さびつき、生活習慣病の温床になるため、適度な運動が必要です。生活の中に運動を取り入れるには、身体をこまめに動かし、まず歩くことから始めよう。

生活習慣病は食生活と運動から

食事はバランス良く！

塩分は1日10g以下に！

渡辺先生

主食

ごはん、パン、めんなどの穀類



糖質性エネルギーの供給源

副菜

野菜などを使った料理



主食と主菜に不足するビタミン、ミネラルの供給源

主菜

魚や肉・卵・大豆製品などを使った料理 たんぱく質・脂肪の供給源



運動の実践

小室先生

「老化は足から」と言われます。

ウォーキングや水泳などの有酸素運動が効果的です。姿勢正しく歩きましょう。

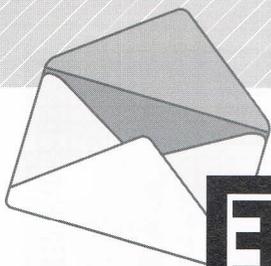


伝言板

インフルエンザの流行季節がやってきました。予防するには

- ・予防接種をしよう。(65歳以上は無料)
- ・うがい、手洗い&人ごみを歩くときはマスクを使用しよう。

問合せ先 町民生部保健課健康増進係 ☎ 82-3588



国保だより



壬生町国民健康保険の実態

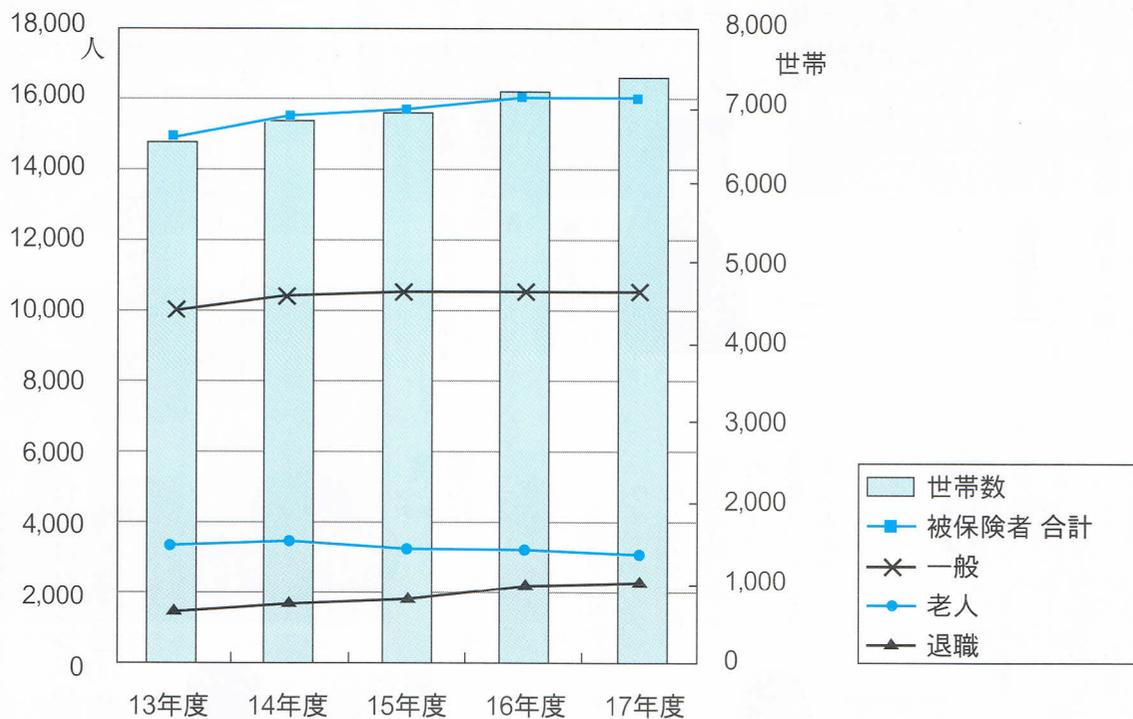
国民健康保険制度は、相互扶助の目的のもとに発足し、今日では欠くことのできない医療保険制度の一つです。

今回は、本町の国民健康保険の加入状況、財政状況をお知らせいたします。

壬生町国民健康保険の加入状況

平成17年度末現在の本町における国民健康保険加入被保険者数は15,819人、加入世帯数は7,316世帯です。町全体に占める割合は、人口で39.8%、世帯数で53.2%となっております。

国民健康保険の加入者数は微増となっておりますが、内訳では、退職被保険者数が増加し、一般被保険者と老人保健対象者数が減少しております。これは平成19年10月まで、老人保健対象年齢をそれまでの70歳以上から75歳以上に引き上げていることによるものです。



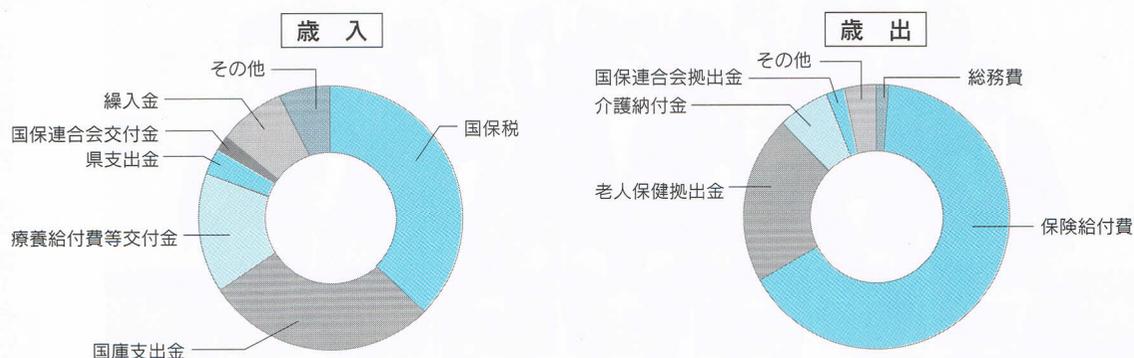
年度	町全体		町		国		保		
	人口	世帯数	被保険者数	加入率	世帯数	加入率	被保険者の内訳		
							一般	退職	老人
13年度	39,834	13,177	14,747	37.0%	6,505	49.4%	9,947	1,520	3,280
14年度	39,821	13,258	15,323	38.5%	6,738	50.8%	10,309	1,668	3,346
15年度	39,811	13,474	15,560	39.1%	6,938	51.5%	10,481	1,873	3,206
16年度	39,886	13,644	15,795	39.6%	7,171	52.6%	10,457	2,174	3,164
17年度	39,795	13,761	15,819	39.8%	7,316	53.2%	10,403	2,363	3,053

平成17年度壬生町国民健康保険特別会計の財政状況

歳入については、保険税の37.53%と国県等の支出金・交付金48.04%で、合わせて85.57%となり、歳入の大部分を占めており、歳出については、保険給付費64.91%、老人保健医療への拠出金20.62%、介護納付金7.00%の合わせて92.53%でそのほとんどを占めています。

皆様に納めていただく保険税は、国県等からの支出金・交付金とともに、国民健康保険の重要な財源となっております。

平成17年度には、税率等の改正をさせていただき、保険税負担額は増加いたしました。一方で、保険給付費も増加しております。必要なときに安心して医療が受けられるためにも、日頃から医療財源を大切にしなければなりません。



	一人当たり	対前年度比	一世帯当たり	対前年度比
保険税負担額	102,472円	121.7%	223,159円	119.6%
保険給付費	221,654円	105.2%	483,956円	103.3%

出産育児一時金の支給額を35万円に引き上げました

壬生町国民健康保険条例を改正し、平成18年10月1日以後の出産から適用となっております。

こんなときは、届け出を

●壬生町国民健康保険に加入する場合

事由	その他持参するもの
職場の健康保険を脱退した場合	職場の健康保険喪失証明書
他市町村から転入し、以前の市町村で国保に加入していた場合	
生活保護を受けなくなった場合	保護廃止決定通知書
子どもが生まれた場合	母子健康手帳

●壬生町国民健康保険から脱退する場合

事由	その他持参するもの
職場の健康保険に加入した場合	職場の健康保険証
壬生町から転出する場合	
生活保護を受けることになった場合	保護開始通知書
死亡した場合	

※上記「その他持参するもの」の他、印鑑、身分証明書(運転免許証等)、壬生町国民健康保険証(同じ世帯でお持ちの場合)は必ず持参してください。

※外国人登録をし、1年以上の在留期間を決定された方は国民健康保険に加入できます。

町発展への功績をたたえ自治功労者を表彰



受賞者のみなさん

永年にわたり、町政の発展、福祉の増進等で多大な功績を残された方々をたたえる、自治功労者の表彰式が11月2日、役場正庁で行われました。今年、特別功労賞1名、功労賞12名、德行賞1名の方々が受賞されました。

受賞者の方々

(敬称略)(50音順)

●特別功労賞

小貫 暁

●功労賞

●8年以上町議会議員の職にあった方

石村 壽夫

●12年以上教育委員の職にあった方

池 節子

●15年以上福祉委員の職にあった方

上山 静香

●20年以上条例又は規則で設置した非常勤特別職にあつて功績があつたと認められる方

黒川 正邦

●20年以上上国又は県からの委嘱による非常勤の特別職にあつて功績があつたと認められる方

糸川 正光

●前後職を異にし通算により対象となる方

荒川 林一

菊地 肇

小林 俊雄

高山 征夫

中村 一雄

山崎 文吉

●20年以上町職員として勤務し、成績優れ功績があつたと認められる年齢50歳以上の方

山本 公恵

●德行賞

●町に1件100万円以上の金品を寄附した方

人見 守豊

平成18年度

明るい選挙啓発 ポスターコンクール

県審査(第二次審査)で
9名が入賞

明るい選挙の啓発運動の一助とするため、全国の児童生徒のみなさんを対象とした「第58回 明るい選挙啓発ポスターコンクール」が行われました。

県内では、小・中・高生から総数2,334点の作品が寄せられ、第一次審査(市町村単位)を通過した641点が第二次審査(県)に出品されました。

本町においても110点にのぼる作品の応募があり、その中から優秀作品として、第二次審査推薦作品20点を出品し、その結果、本町では、入選に2点、佳作に7点、合計9点を選ばれました。

また、下都賀郡町村選挙管理委員会連合会入選作品5点が選ばれました。

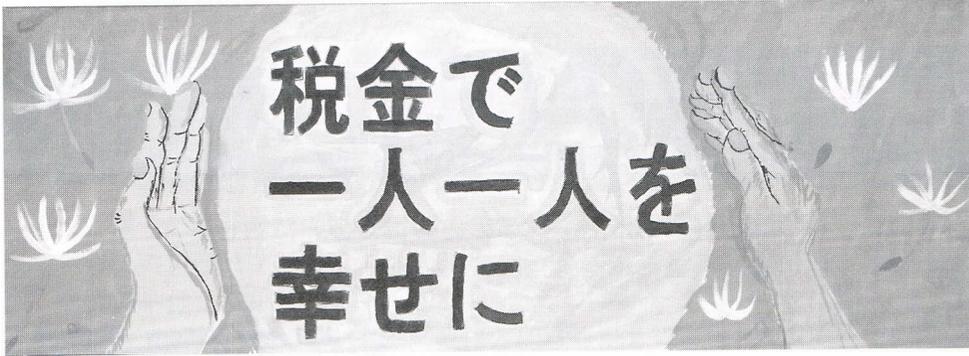
審査結果は、次のとおりです。

第二次審査(県)

◆入選

吉田 友輝 (藤井小2年)
神永 朋佳 (稲葉小5年)

納税の推進に関する
ポスター標語を展示



最優秀賞 齊藤 夢華(壬生北小6年)



最優秀賞 山野 裕紀(南犬飼中2年)

町では、町内の小・中学校から募集しました納税ポスター標語を、「税を知る週間」(11月11日～17日)に合わせ、役場住民課窓口前の町民ホールに展示しました。

これは、次代を担う児童・生徒が夏休み期間中に「納税に関するポスター標語」を作成することにより、家族みんなで税について考え、税についてより関心と理解を深めていただくよう、町内の小学6年生と中学2年生を対象に毎年実施しています。今年も総数638点の作品が応募され、最優秀2点、優秀賞10点及び佳作28点を表彰、その中から最優秀賞及び優秀賞12点を展示したものです。

◆優秀賞

- 板橋 謙 (壬生中2年)
- 鈴木 美穂 (壬生中2年)
- 提橋 鮎美 (壬生中2年)
- 白井 博紀 (南犬飼中2年)
- 渡辺 美里 (南犬飼中2年)

また、栃木税務署等で募集しました中学生の標語は、町内から731点の作品が寄せられ、優秀作品6点がそれぞれ入賞、同じく展示されました。

◆栃木税務署長賞

「納めよう 夢ある社会と

「豊かさ 夢ある未来を

「税金で」

「税金で 描く僕らの 夢の街」

「税金で より良い未来と

「税金で 明るい笑顔」

「その税が 光輝く 未来を作る」

「黒子 真吾 (壬生中1年)

「納税で 目指すは住みよい

町づくり」

◆佳作

- 小林 久乃 (壬生東小3年)
- 本島 舞 (壬生東小6年)
- 白井 悠記 (壬生北小4年)
- 篠原 大卓 (羽生田小6年)
- 加藤 胡桃 (安塚小6年)
- 糸川 遥 (壬生中1年)
- 松本 怜奈 (壬生中2年)

◆入選

- 村井 亜美 (壬生小1年)
- 佐藤美帆奈 (壬生小4年)
- 川俣 明穂 (壬生小6年)
- 成田 萌子 (壬生小6年)
- 橋本 春菜 (藤井小6年)
- 上原 卓也 (壬生中1年)
- 吉田 百花 (壬生中1年)
- 麻山まどか (壬生中2年)
- 大西 由姫 (壬生中2年)
- 津久井 豊 (南犬飼中1年)
- 中川早耶香 (南犬飼中1年)

下都賀郡町村
選挙管理委員会連合会

◆入選

- 山川 弥香 (藤井小6年)
- 野呂 祥子 (睦小6年)
- 河野邊尚美 (安塚小4年)
- 篠原 舞 (壬生中2年)
- 野本 祐香 (南犬飼中1年)

◆最優秀賞

山野 裕紀 (南犬飼中2年)

◆中学生の部

- 青木 優衣 (壬生小6年)
- 川俣 明穂 (壬生小6年)
- 篠原 麻佑 (藤井小6年)
- 金子 七瀬 (壬生東小6年)
- 谷口有寿佳 (睦小6年)

◆優秀賞

齊藤 夢華 (壬生北小6年)

◆小学生の部

◆最優秀賞

齊藤 夢華 (壬生北小6年)

糸川 慶生 (南犬飼中1年)



高齢者福祉サービス事業のご紹介

町では、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯の方に対して、
介護予防・生活支援等の各種事業を提供しています。

概要は次のとおりです。

生活支援ホームヘルプ事業

介護保険が適用にならないひとり暮らし高齢者及び高齢者のみ世帯の方で、日常生活を営むうえで介護が必要な方にホームヘルパーを派遣し在宅生活が送れるように援護します。

* サービスの内容

調理・洗濯・掃除・買い物等の家事援助。関係機関への連絡・相談・助言・外出時の付添等。

- ・利用回数週2回程度

日帰り介護(デイサービス)事業

介護保険が適用にならない高齢者の方に、老人保健施設への通所により入浴等のサービスを提供し、心身機能の維持向上並びに家族の負担の軽減を図ります。

* サービスの内容

入浴サービス・健康チェック・送迎サービス

* 利用料金

利用期間は6か月を限度とし週一回の利用。利用日時等は実施機関と協議。入浴サービス・健康チェック・送迎サービスで自己負担1,000円。給食サービスは自己負担。

以下の事業も実施しております。詳しくは、町高齢対策課へおたずねください。
(いずれも町高齢対策課への申請が必要です。)

- ◆ 寝具洗濯乾燥消毒事業
- ◆ 紙おむつ給付事業
- ◆ 高齢者家庭介護者助成事業
- ◆ 配食サービス事業
- ◆ 介護予防(一般高齢者)事業

軽度生活援助事業

ひとり暮らし高齢者及び高齢者のみ世帯の方が、日常生活を営む上で不自由な、家の周りの手入れや除草等を、シルバー人材センターに委託して援助します。

* サービスの内容

・家の周りの手入れ・庭の周りの除草・庭木の剪定、軽微な修繕等その他必要と認めるものの援助。

- ・利用回数週2回程度
- ・1回3時間程度

外出支援サービス事業

下肢が不自由で、一般の公共交通機関の利用が困難なため、病院などへの通院が不自由な、ひとり暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯の方に対し、「利用券」を交付し、外出の支援を行います。

* サービスの内容

年1回4月に、「利用券」を交付します。医療機関への通院などのためにタクシーを利用した場合、利用券が使用でき、料金が半額程度となります。1か月片道4回まで。

安否確認及び緊急通報システム等貸与事業

緊急事態に機敏に行動することが困難な、ひとり暮らし高齢者及び高齢者のみ世帯の方に安否確認及び緊急時の連絡に便利な通報システム等を貸与します。

* サービスの内容

安否確認に必要なセンサーをドア・テレビ・冷蔵庫等に取り付け、24時間態勢で受信センターが見守り、また、ボタンを押すだけで受信センターに連絡が出来る通報システムを貸与します。救急時にはセンターが119番通報してくれます。

* 利用料

1ヶ月2,800円+消費税(前年度町県民税非課税世帯は300円+消費税)

生きがい活動支援通所事業

老人憩いの家「富士見荘」及び「ふれあい交流館」にて通所可能な概ね65歳以上の高齢者に、趣味活動や健康維持のための運動や楽しい遊びを通して、生きがいを持っていただく場を提供し、閉じこもりを予防します。

* 利用日時(祝日・年末・年始を除く)

老人憩いの家富士見荘

毎週木曜日 10:00~15:00

ふれあい交流館

毎週金曜日 10:00~15:00



● 問い合わせ先 ●

町民生部高齢対策課

☎81-1830

20歳になったら 国民年金加入の手続きをしましょう!!

「年金」という言葉を耳にしても、若いときは保険料を納めるだけで高齢者になったとき初めてかかわりがあるように考えられがちですが、若いときにも意外とかかわりが深いものなのです。

公的年金は、自分の老後の支えになるだけでなく、それ以前に自分の親の老後を経済的に支えることとなります。一家の働き手が不幸にして亡くなったときには、**遺族年金**が支給されますし、思わぬ事故や病気がもとで障害が残ったときには、若い人にも**障害年金**が支給されます。

公的年金の基本理念である「世代と世代の支え合い」の意味をしっかりと認識して、公的年金制度に対する積極的な理解と参加に努めることが大切です。



公的年金へは、自動的に加入できるものではありませんので、加入手続きが必要です。

保険料は20歳から60歳になるまで40年間納めます。

手続きをしても保険料を納めないと年金を受け取る資格がありません。

保険料の納付が困難な場合には……

○学生納付特例制度

※
学生本人の前年所得が一定以下であれば、役場住民課又は両出張所に申請し、社会保険事務所で承認された期間は未納扱いにはならず、社会人になってから保険料を納めることができます。

※扶養親族等がない学生の方の場合、118万円以下

○若年者納付猶予制度

※
平成17年4月からは20歳台の若者本人と配偶者の前年所得が一定以下の場合、申請により保険料を後払いにすることができます。

※扶養親族等がない方の場合、57万円以下

学生と20歳台の人に
特例制度があります

特例・猶予期間の扱いについて……

- ① 一定の要件を満たしていれば、万一の事故や病気で障害が残ったときでも、障害基礎年金が受けられます。
- ② 老齢基礎年金の年金額の計算には入りませんが、受給資格期間に算入されます。
- ③ 保険料は、承認を受けた月以降10年以内であれば納めることができます。これを追納といい、3年目からは当時の保険料に一定の額が加算されます。
追納すれば、将来受け取る老齢基礎年金額に反映されます。
- ④ 毎年申請が必要です。

便利で安心“口座振替”なら割引があります！

通常の口座振替の振替日は翌月末ですが、届出により当月末振替にすると1ヶ月あたり保険料が40円割引されます。

手続きは

金融機関または社会保険事務所

ご持参
いただくもの

- ①年金手帳又は納付書
- ②振替の預金通帳
- ③通帳の届出印

◎問合せ先 ● 栃木社会保険事務所 国民年金業務課
● 町民生部住民課国民年金係

☎ 22-6074・6075
☎ 81-1827

スポーツ

創部10周年記念

第1回壬生町ソフトテニス大会

主催：壬生ソフトテニスクラブ
町体育協会ソフトテニス部
11月12日
町総合運動場テニスコート

〔成 績〕

- 一般男子の部
 - 優勝 熊谷幸一・葭葉裕之組
 - 準優勝 稲葉国仁・畑中康浩組
 - 第3位 高橋昌利・渡辺 充組
- 一般女子の部
 - 優勝 高橋優子・藤田志津組
 - 準優勝 中川喜美江・古谷津佳子組
 - 第3位 大出清美・大山朝子組
- シニア男子の部
 - 優勝 阿部 治・野中裕二組
 - 準優勝 大河内善一・和久井昭治組
 - 第3位 渡辺稔夫・川野辺敏雄組



優勝者のみなさん

平成18年度 町内対抗野球大会

10/29、11/5、11/12、11/19
町総合運動場
参加チーム 12チーム

〔成 績〕

- 優勝 羽生田
- 準優勝 藤井中央
- 第3位 六美北部
- 六美中央
- 決勝戦 羽生田 3×0 藤井中央



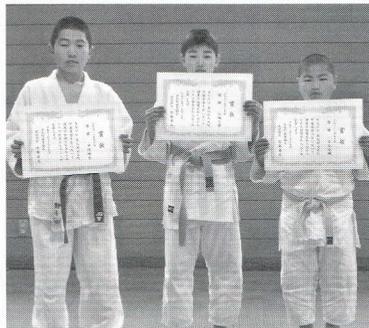
羽生田チームのみなさん

第9回 壬生町学童柔道大会

11月19日
町総合運動場武道館

〔成 績〕

- 小学1・2年生の部
 - 優勝 古水祐輔
 - 準優勝 (栃木・大宮南小2年) 入江 甫 (壬生小1年)
- 小学3・4年生の部
 - 優勝 山田大貴
 - 準優勝 (栃木第四小4年) 鬼澤悠介 (壬生小4年)
- 小学5・6年生の部
 - 優勝 中川翔太 (安塚小6年)
 - 準優勝 出井聖人 (安塚小6年)



優勝者のみなさん



第4回 みぶっ子ドッジボール大会

10月29日(日)に第4回みぶっ子ドッジボール大会(主催：壬生町子ども会育成会連絡協議会・壬生町教育委員会)が、町体育館で開催され、下学年の部(小学校1〜3年生)14チーム175名、上学年の部(小学校4〜6年生)13チーム154名、延べ25チーム329名が参加し、熱戦が繰り広げられました。

〔試合結果〕

- 下学年の部
 - 優勝 キャラメルドリームズ (城内、仲通町、福和田南、万町、安塚南部)
 - 準優勝 落合・本田
 - 第3位 羽生田
 - 第4位 バニラース(上通町、城南)
- 上学年の部
 - 優勝 助谷原
 - 準優勝 陸D (おもちゃのまち、六美町北部)
 - 第3位 落合・本田
 - 第4位 ミントファイターズ (城内、上通町、仲通町、城南、福和田南)



キャラメルドリームズのみなさん



助谷原のみなさん

第48回栃木県郡市町対抗駅伝競走大会

1月28日(日)開催

県内最大、最長の歴史を誇る駅伝大会「第48回栃木県郡市町対抗駅伝競走大会」が、平成19年1月28日(日)に開催されます。

県庁～壬生町内～栃木市総合運動公園陸上競技場を往復する全60kmのコースで競われるこの大会。とちぎ路を駆け抜ける選手たちに、多くの方々の声援をお願いいたします。

主催：栃木陸上競技協会、下野新聞社、宇都宮市、栃木市、壬生町、参加郡市町教育委員会・体育協会

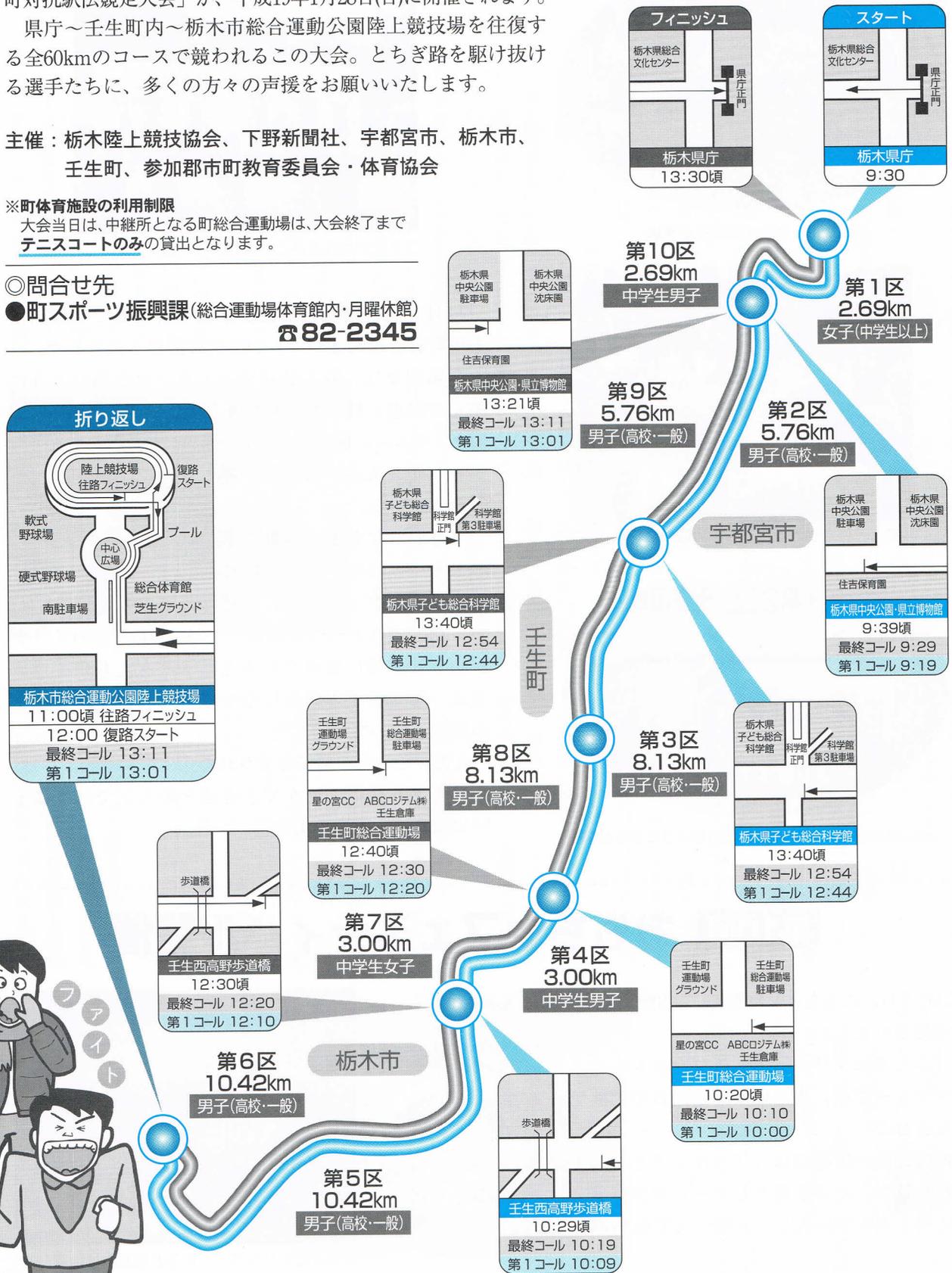
※町体育施設の利用制限

大会当日は、中継所となる町総合運動場は、大会終了までテニスコートのみの貸出となります。

◎問合せ先

●町スポーツ振興課(総合運動場体育館内・月曜休館)
☎82-2345

大会コース



まちのわだい



第24回 総合産業まつり



ミニSLには多くの親子が乗車



ステージではよさこいなどが行われました



多くの子供たちがイワナつかみ取りに挑戦



わんわんショーでは犬たちがいろいろな芸を披露

11月3日、町総合運動公園陸上競技場で「第24回 壬生町総合産業まつり」が盛大に開催されました。

会場内では、陸上競技場のトラックを囲むように多くの出店・展示が行われました。ステージでは、開会セレモニーの後、ちびっ子お囃子、わんわんショー、ジャンケン大会、よさこい踊り、バンド演奏などが行われました。

小さい子ども連れの親子は、ミニSLやファファ、パトカー・消防車展示、丸太切り大会や竹細工作り、キックターゲットなどに、往ったり来たりで大忙しでした。イワナのつかみ取りでは、800匹ものイワナが次々と水槽に放流されると、子どもたちがイワナを追って全身ずぶ濡れになっていましたが、大喜びの歓声が響いていました。

また、この日会場で発売された壬生町共通商品券は、朝早くから長蛇の列ができるほどの人気で、午後1時には完売となりました。

第10回 おもちゃフェスティバル開催

11月3日、おもちゃ博物館で「第10回おもちゃフェスティバル」が開催されました。

「ふたりはプリキュア スプラッシュ☆スター」のキャラクターショーでは、小さい女の子連れの家族で会場はいっぱいになりました。

博物館前の広場では、プリキュアとのサイン会・握手会も行われたほか、だるま落としゲームやファファ、各種模擬店も噴水広場を囲んで出店し、大勢の人で賑わいました。



大好きなキャラクターに子どもたちは大喜び

平成18年 秋の叙勲 本町から3名が受章

秋の叙勲の受章者が発表され、本町から荒川誠一さん（大字上稲葉）、栗原信明さん（大字国谷）、佐藤精宏さん（本丸二丁目）の3名の方が受章されました。

旭日双光章



荒川誠一 78歳 地方自治

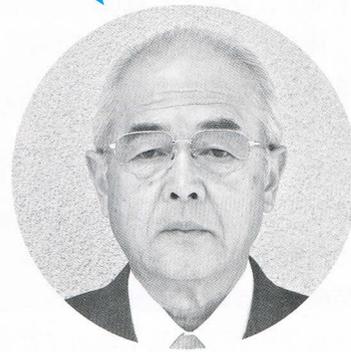
1978年から連続6期町議会議員を務め、正副議長を歴任。現町防犯組合連絡協議会長。

瑞宝双光章



栗原信明 70歳 教育

1966年から国谷幼稚園長。99年5月から2003年5月まで県幼稚園連合会理事長。



佐藤精宏 70歳 郵政事業

1977年から24年間、中央町郵便局長を務める。現町教育委員。

壬生東クラブ 関東大会出場



10月27日、壬生東小学校野球部「壬生東クラブ」が、関東大会出場の報告に町長室を訪れました。

壬生東クラブは、10月14・15日に小山市菅向野運動公園野球場ほかで行われた第8回関東学童軟式野球大会栃木県予選において見事優勝しました。

関東大会は、11月18・19日に千葉県鎌ヶ谷市内の日本ハムファイターズ球場において開催され、壬生東クラブは見事に3位となりました。

鈴木正浩さん 文部科学大臣表彰を受賞

町体育指導委員会会長の鈴木正浩さんが、スポーツ振興における長年の功績により文部科学大臣表彰を受賞することとなり、11月16日に大分県で行われた「第47回全国体育指導委員研究協議会」の席上、表彰されました。

鈴木さんは、昭和52年の任命以来20余年の長きにわたり体育指導委員を務め、現在も県体育指導委員協議会副会長、町スポーツ振興審議会委員、また町家庭婦人バレーボール協会会長として、町のスポーツ活動の中心となり活躍しています。





安塚小学校で「ひいらぎ集会」開催

11月22日、安塚小学校で「ひいらぎ集会」が行われました。これは集会活動を通して学年の違う児童たちが楽しく仲間づくりをし、お互いを思いやる心を育てよう、地域の人々とふれあおうというものです。開会行事では県推薦の実力を持つ安塚小合唱部の発表もあり、保護者や地域の方々も熱心に聴き入っていました。

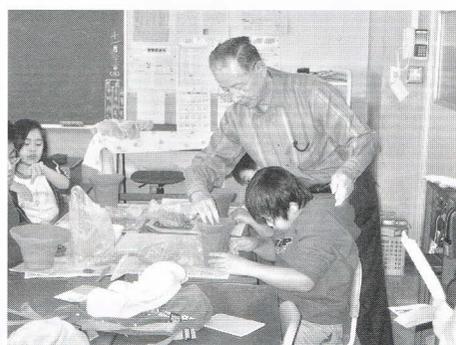
開会行事の後、ふれあい班（1～6年生の縦割り班）ごとのさまざまな活動が行われました。子どもたちは、お茶作り、まんじゅう作り、サツマイモ料理、中国料理、そば打ち体験、木工クラフト、折り紙、フラワーアレンジ、はにわ作り、水鉄砲・竹とんぼ作り、たこ作り、スポーツチャンバラ、カローリング、ピロポロ等の活動を、たくさんのボランティアの方々にお世話になりながら笑顔いっぱい活動を進めていました。「きちんとおさえるんだよ」と高学年の子が低学年の子に教えている姿や、お互いに助け合っている姿がたくさん見られました。

活動を通して、ボランティアの方々とはもちろん、子ども同士もふれあい、そして保護者や地域の方ともふれあうことができました。

学校や子どもたちのことをたくさんの方々を知っていただくよい機会にもなりました。



まんじゅう作り（上）はにわ作り（下）などいろいろな活動に挑戦



安生佳子さん、鈴木理助さん、菊地肇さん 栃木県統計大会で表彰



神永助役 安生さん 鈴木さん 菊地さん

11月15日、県総合文化センターにおいて第44回栃木県統計大会が開催され、安生佳子さんと鈴木理助さんが総務大臣賞を、菊地肇さんが栃木県統計協会名誉会長表彰を受賞されました。

それぞれ長きにわたり国勢調査等各種統計調査に従事され、統計調査の発展・推進に多大なる貢献をされています。

須藤清司さん、木村真弓さんに 経済産業省 経済産業政策局調査統計部長から感謝状

須藤清司さん、木村真弓さんは、経済産業省所管統計調査（工業統計調査・商業統計調査）に永年貢献されたとして、経済産業省経済産業政策局調査統計部長から感謝状が交付されました。

11月17日に役場町長室において伝達式が行われ、清水町長よりお二人に手渡されました。



木村さん 須藤さん 清水町長

いきいきふれあい活動 藤井小円遊会

11月6日藤井小学校の体育館にて、「いきいきふれあい活動藤井小円遊会」が行われました。

今回、地域の高齢者と世代間交流をとおして、学校と地域の連携を深めることを目的に社会福祉協議会と藤井小の共催でされたものです。藤井地区の自治会長さんに事前にとりまとめていただいた37人の地域の高齢者と日頃スクールガードや読み聞かせなどでお世話になっている19人の学校ボランティアが招待されました。

倉田校長先生や児童代表の歓迎のあいさつのあと、発表は学年ごとの運動会ダンスや合唱、よさこいソーラン、全校児童52人の合奏を披露しました。子どもたちは、この日のために練習を重ね、招待されたお年寄りたちも大きな拍手で応援していました。

お昼の会食は、社会福祉協議会のボランティアグループにより温かいけんちん汁を作っていたでいて、児童と招待者が一緒に6班のグループ分けしたテーブルで楽しいひとときを過ごしながら交流を深めました。



児童がいろいろな出しものを披露



一緒にお昼を食べて交流を行いました

ありんこ保育園 さつまいも掘り



力を合わせて大きないも掘り起こしました

11月6日、国谷落合の畑でありんこ保育園の児童によるさつまいも掘りが行なわれました。

安塚2の赤羽根正六さんが自分の畑に苗を植えて管理し、いもはありんこ保育園に提供したものです。この地に初めて作ったという400㎡のベニアズマは、子どもたちでは掘り起こせないほどの大きさのものがたくさん育っていました。

5歳児の園児28人は、付き添いの先生たちと一緒に素手で掘り起こして、いもと格闘していましたが、自分の頭より大きなさつまいもを掘り起こすたび、歓声を上げていました。ありんこ保育園では、保育園のおやつとして焼き芋にして食べる予定だそうです。

青少年育成国民会議から水井正成さんに感謝状

11月11日、国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて開催された青少年育成国民運動発足40周年中央記念大会において、多年にわたり青少年の健全な育成を目指し、その運動推進に尽力してきた功勞により、水井正成さんに感謝状が贈呈されました。

水井さんは、町青少年育成指導員会長や青少年健全育成実施委員会委員などとして地域にとけ込んだ青少年の健全育成の推進に向け普段から取り組んでおられるとともに、栃木警察署管内少年指導委員会会長や県青少年育成指導員などとしても活躍しておられます。





地元老人クラブメンバーが、わんぱく陸っ子の森花壇に植栽

11月8日、わんぱく陸っ子の森において、9つの地元老人クラブで組織される睦緑友会（小西武志代表）のメンバーにより花の植栽が行われました。

陸っ子の森が整備された1997年から毎年春と秋の2回実施している恒例行事で、老人クラブのメンバー約30人と福祉施設むつみの森の通所者がパンジー600株とビオラ400株を花壇に植えました。参加者は用意された赤や黄色の花苗を1株ずつポットから取り出し、協力しながら丁寧に植え込みました。パンジーとビオラは来年春まで花壇を彩ります。



第7回 福和田芋煮会



11月5日、福和田地内において、福和田花壇管理組合（大橋良平代表）主催の「第7回福和田芋煮会」が開催されました。

大鍋に作られた本場山形風の芋煮が販売された他、苗木や野菜等の無料配布や各種模擬店の出店が行われました。また、当日は風もなく穏やかな晴天に恵まれ、熱気球の試乗体験も行われました。

会場は周辺自治会を中心とした多くの家族連れで賑わい、できたての芋煮に舌鼓を打っていました。

消費者フォーラム開催 壬生町消費者友の会も出展

「めざそう自立・かしこい消費者」をテーマに、平成18年度消費者フォーラムが、11月18日(土)宇都宮市男女共同参画センター・文化会館小ホールを会場に開催されました。

これは、消費者をめぐる様々な問題について、消費者と市町、県が共同して啓発を目的として、県内5つのブロックにわけて開催しているものです。今年は県央ブロックで宇都宮市や下野市、高根沢町等2市6町の団体や企業が出展したり、講演会や寸劇なども催され、大勢の人で賑わいました。

壬生町からは、「壬生町消費者友の会」が出展し、ごみを減らすための工夫、リサイクル品や手作り小物、地産地消等、日頃の活動のようすを展示し、来場者の方の質問に答えていました。

また、体験コーナーでは、アクリル糸を使ったコップ洗いやたわし・古フィルムケースの貯金箱の作り方を指導し、参加したみなさんは熱心に作品を作っていました。消費について考える一日になったのではないのでしょうか。



日頃の活動内容や小物、リサイクル品の展示が行われました

魚道整備についての学習会を開催

10月26日夜、ありんこ保育園の講堂において思川魚道整備事業についての学習会が開催されました。

これはNPO「夢くらぶ むつみ」が子どもたちに身近な黒川にサケがのぼってこられるようにするにはどうすればよいかと、学習会を開催したもので、講師に下都賀農業振興事務所、役場農務課、参加者は町内の民間保育園、漁業協同組合、地元育成会など30人でした。

県では思川魚道整備調査事業として、思川の両毛線鉄橋下から上流は西方町小倉堰までの3カ所の堰の魚道、浅瀬や河川工作物などのモニタリング調査を2カ年継続で行っており、各堰の構造とマーキングした魚を放流した結果などの説明と黒川の堰（飯塚堰と山崎堰）の状況説明がありました。

質疑では、大光寺の堰の高低差が上流へのサケの遡上を妨げていること、思川の今回の調査をもとに鹿沼市までサケが上れるような魚道整備の国庫補助につなげたい、大光寺の堰の魚道が改修されれば黒川にもサケが上れるようになる、最近のカワウの被害でアユが激減している、思川の水生生物の多様性などの話題がありました。



思川、黒川に関し、さまざまな話題がありました。

夢くらぶむつみ いも煮会



おいしいいも煮にみんなにっこり

11月19日、六美町のNPO法人「夢くらぶむつみ」（加山祐二理事長）の「楽農くらぶ収穫祭 いも煮会」が開催されました。

地元にいるお年寄りから子どもたちまでの交流事業として、自分たちで収穫した野菜を持ち寄っての収穫祭を夢くらぶむつみが企画したものです。交流会場には、育成会、老人クラブやのぞみホームのスタッフなど30人以上が集まりました。自分たちの畑で朝収穫してきた野菜で作った芋煮や朝炊いた赤飯、炭で焼いたジャガイモ、焼き鳥などで歓談しながら、収穫祭を楽しみました。

夢くらぶむつみと育成会で夏に一緒にまいたそばも11月初旬に収穫が終わり、1月13日には地元のそば打ち名人を講師にして子どもたちにそば打ち体験をしてもらうことを計画しています。

壬生町シルバー人材センター

優良シルバー人材センターとして表彰される

栃木県シルバー人材センター連合会設立10周年記念式典が11月8日、とちぎ健康の森で開催され、優良シルバー人材センター表彰において、壬生町シルバー人材センター（神永榮理事長）が優良シルバー人材センターとして表彰されました。

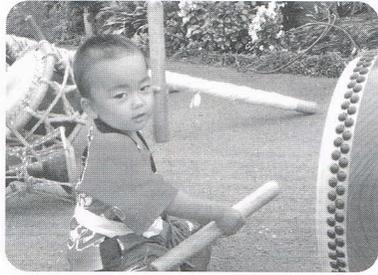
シルバー人材センターは、高齢者が就業を通じて、自己の培われた経験と技能を活用し、社会参加の推進を図り「生きがい」を充実させるとともに高齢者の能力を活かした活力ある地域社会づくりに寄与することを目的に活動しています。

今回の表彰は、センター活動における事業実績、職群班（植木・除草・草刈り・内装班など15班）の設置を通して多様な就業ニーズへの対応や福祉・家事援助サービス事業など、その活動が活発であり、地域社会への貢献度が著しく高く、他の模範となる事業運営が評価されたことによるものです。

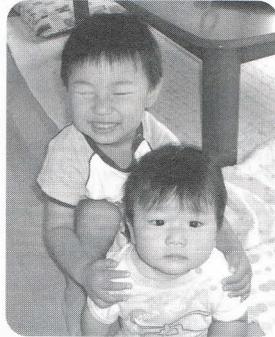


表彰を受ける神永理事長

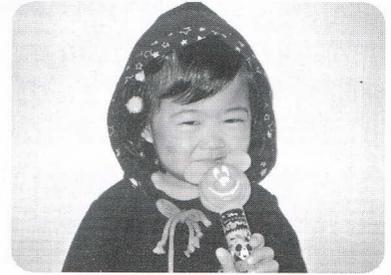
みんなの広場



とちき
足助智貴ちゃん(鯉沼)
(H15.12.10生)



ちひろ
大塚千寛ちゃん(H15.9.21生)
ひろき
宏樹ちゃん(H17.12.19生)
(下横町)



りあ
高山莉央ちゃん(安塚中央)
(H16.12.1生)



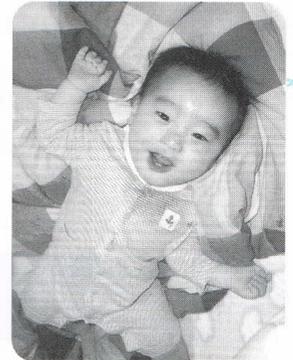
今回は2月生まれのアイドルを募集します。
(締切1月19日)。写真はお返しします。

応募者多数の場合は抽選になることもありますのでご了承ください。

写真裏に住所、氏名、保護者名、生年月日、電話番号を書いて、役場企画財政課(直接或は郵便で〒321-0292壬生町通町12-22)または、稲葉・南犬飼各出張所、生涯学習館へ。



ひかり
上田光莉ちゃん(上田)
(H17.12.21生)



まさと
渡部雅翔ちゃん(緑町三丁目)
(H17.12.20生)

歴史民俗資料館だより

また「車塚古墳」の塚の南側には、巨大な凝灰岩で造られた横穴式石室が開口しています。石室については、江戸時代の古文書から、当時から既にふた石があげられていたと思われる。

前回紹介した愛宕塚古墳に続いて造られたのが「牛塚古墳」です。古墳の形は前方後円墳ですが、前方部が短く上から見た姿がホタテ貝に似ていることから、「帆立貝形の前方後円墳」と呼ばれています。そして牛塚古墳のすぐ東側にある巨大な円墳が「車塚古墳」です。現在は、たくさんの木々が生い茂り緑に包まれたお墓となっていますが、「車塚古墳」が造られた当時(今から約1400年前)は樹木は一本もなく、墳丘の表面は川原石で覆われ、まさに人工的な構築物が古墳であったと思われる。古墳の大きさは直径が約82mあり、古墳時代終末期における古墳では東国最大の古墳とされています。

シリーズII
『みぶの史跡を訪ねて』
「牛塚古墳」と「車塚古墳」



・車塚古墳石室(南側より)



・車塚古墳と牛塚古墳(東側上空より)
上:牛塚古墳、下:車塚古墳

問合せ先 歴史民俗資料館
82-8544
次回は、藤井地区にある謎の多い「吾妻古墳」について紹介します。

『緑の募金』のご協力 ありがとうございました

「僕たちの未来につなごう 豊かな緑」をテーマに自治会や事業所の皆様にご協力いただきました「緑の募金」に、1,156,644円の募金がありました。この募金は、栃木県緑化推進委員会に送金しまして、森林の整備など、多彩な森林・みどりづくり運動を展開されていきます。

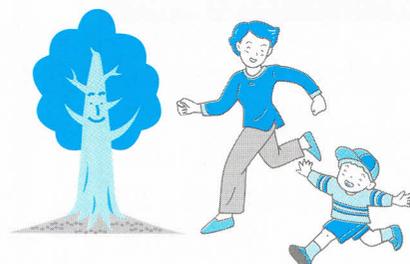
1 家庭募金

自治会名	募金額
下表町	28,800円
中表町	9,900円
下横町	12,600円
今井	6,000円
上表町	17,300円
東下台	21,900円
城東町	7,200円
舟町	11,600円
栄町	6,100円
仲通町	7,300円
上通町	10,500円
三好町	7,300円
旭町	13,500円
万町	17,200円
上新町	16,700円
下馬木(壬生)	8,400円
西高野	12,200円
城内	16,600円
城南	16,000円
馬場	5,800円
原宿	3,200円
田向稻荷内	4,900円
上坪	2,100円
前宿坪	7,300円
台坪	4,400円
星の宮	7,800円
至宝町北	21,200円

自治会名	募金額
六美町北部	20,800円
ひばりヶ丘	6,400円
緑町一丁目	16,000円
緑町二丁目	13,000円
幸町一丁目	16,500円
幸町二丁目	16,500円
幸町三丁目	27,800円
幸町四丁目	11,500円
おもちゃのまち	22,000円
いずみ	12,600円
六美町南部	30,400円
車塚	6,900円
六美町中央	24,300円
下台団地	6,600円
駅東	19,200円
至宝町南	30,600円
県営壬生住宅	10,800円
釜ヶ淵	3,800円
原坪	8,000円
鹿島	8,900円
下馬木(稲葉)	7,700円
下町	7,700円
上町	11,300円
本郷	8,900円
松原	6,700円
西部	6,000円
中央	5,800円

自治会名	募金額
北原	4,200円
台宿	4,200円
下坪	5,800円
東原	6,400円
鯉沼	4,200円
福和田	13,300円
北小林	17,000円
安塚一	23,200円
安塚二	23,000円
上長田	20,100円
上田	17,500円
中泉	13,300円
助谷	10,300円
助谷原	4,300円
落合	21,700円
国谷中央	11,700円
国谷新田	6,100円
緑町三丁目	19,900円
緑町四丁目	5,000円
あけぼの	22,300円
安塚三	30,500円
安塚南部	29,300円
若草	5,000円
国谷本田	2,900円
安塚中央	28,000円
	1,019,700円

- 2 街頭募金 5,413円
- 3 職場募金 獨協医科大学職員 67,976円
壬生町役場職員 33,555円
- 4 団体募金 獨協医科大学 20,000円
壬生町職員互助会 10,000円



落合恵子氏講演会へのお誘い

壬生町では平成19年4月からの実施に向け、多くの方々から御協力を頂きながら「男女共同参画計画」を策定しています。そこで、町民の皆様に関心を持って頂きたく、本講演会を開催します。是非ご来場下さい。

○内容

講演会「いのちの感受性」

○日時

平成19年2月17日(土)

13:45～15:30

○会場

壬生中央公民館大ホール

○聴講料

無料(平成19年1月17日(水)

より、役場内教育委員会生涯学習課、壬生中央公民館、稲葉地区公民館、南大飼地区公民館、生涯学習館で聴講券をお渡しします。)

○問合せ先

町教育委員会生涯学習課

☎81-1873

※この事業は、文部科学省より人権教育総合推進地域の指定を受けて行われるものです。

落合恵子氏について

栃木県宇都宮市生まれ。明治大学卒業後、文化放送入社。アナウンサーを経て作家生活に入る。身近な問題を取り上げて、誰でもわかりやすく考えられる小説の形で表現し続けている。海外との交流や講演活動にも取り組んでいる。



寄付

◆社会福祉協議会へ (○数字は寄付回数)

- 壬生町健康ふくしまつりゲーム・卵つかみチャリティ部門様① 1万7千201円
- ボランティア コスモス様② 5千円
- 虹の会様② 1万円
- JAしもつけ壬生地区営農経済センター様⑥ 1万3千900円
- 壬生町たばこ販売組合様④ 9千612円
- 東彩ガス(株)壬生営業所様⑪ 8千289円
- 墨絵クラブ様⑮ 1万円
- 加藤国夫カラオケ発表会様④ 9千800円
- 匿名① 901円
- 大山武夫様① 4千114円
- 壬生町民生委員協議会様⑭ 9千50円
- 寺内澄夫様⑧ 645円
- 両毛ヤクルト販売(株)様② 8万円

◆町へ

11月21日、壬生町商工会青年部(日向野博史部長)様から、社会福祉に役立てて欲しいと、蘭学通りまつり・フェスタinおもちゃのまち・産業祭の益金10万5千600円の寄付がありました。

11月22日、協栄産業株式会社(古澤栄一社長)様から、まちづくりに役立てて欲しいと、50万円の寄付がありました。協栄産業様には毎年寄付をいただいております。今年で10回目となります。



協栄産業



商工会青年部



絵画「明るい木」



藤井小 5年
橋本 拓也



藤井小 5年
吉田 彩乃



まちのうごき

12月1日現在

総人口	40,051 人	(△73)
男	19,640 人	(△35)
女	20,411 人	(△38)
世帯数	13,804 世帯	(△20)
	()内は前月比	

納期限	1月31日
	1月の納税等
●	町県民税(4期)
●	国民健康保険税(7期)
●	介護保険料(普通徴収・7期)